

# 「体制の機能」としての リーダーシップ

ポピュリズムとポピュリストについての一考察  
アーロン・ウィルダフスキー、ジークムント・フロイトの  
モーセ五書解釈を手がかりに

木村 祐治  
関西大学  
(法学部非常勤講師)

3. 「政治指導者」モーセ
  - 1) 政治指導者モーセとそのリーダーシップ
  - 2) 同一化と自我理想、集団理想  
リビド的拘束と共通のリーダー
  - 3) 「人格」としてのカリスマ、「理念」としてのデモクラシー  
「偉大なる男」としてのポピュリスト

おわりに

## はじめに

1. リーダーシップのありか 属人的資質か、体制の機能が
  - 1) 「資質」としてのリーダーシップ
  - 2) 「機能」としてのリーダーシップ
2. 「体制」としてのポピュリズム
  - 1) ポピュリストがポピュリズムをもたらすのか
  - 2) 避けられぬものとしてのポピュリズム  
デモクラシーの一つの帰結
  - 3) カリスマの脆弱さ  
カリスマ支配の平等主義的側面
  - 4) モーセ五書に描かれた政治体制  
奴隷制、アナーキー、公正制、ヒエラルキー
  - 5) ポピュリズムという体制  
アナーキーと公正制との結合

## はじめに

1. 「ポピュリズム」「ポピュリスト」をめぐる「議論」  
リーダーのパーソナリティ、言動についての「印象批評」に  
陥りがちな傾向



「体制の機能としてのリーダーシップ」  
アーロン・ウィルダフスキー (Aaron Wildavsky, 1930-1993)  
Moses as Political Leader (1984, 2005)  
「体制」としてのポピュリズム

2. リーダーシップの獲得、集団の形成  
フロイト『集団心理学と自我分析』(1921年、1923年)  
『モーセという男と一神教』(1929年)
3. 「モーセ五書」の政治学的解釈  
「創世記」「出エジプト記」「レビ記」「民数記」「申命記」

# 1. リーダーシップのありか

## 1) 「資質」としてのリーダーシップ

[政治学]

丸山眞男  
「徳」

山川雄巳  
「リーダーの地位にともなう権限は、実力のある人でなければ、なかなかうまく使いこなせるものではない」

ウィルダフスキー  
リーダー＝「自明の行為者」  
身体的・心理的形質

[経営学]

普遍主義

どのような条件のもとでも、優れたリーダーの行動は  
共通しているという立場

(1) 資質アプローチ

リーダーシップを発揮するために必要な資質・能力を  
パーソナリティー特性あるいは先天的な資質として把握

(2) 行動アプローチ

リーダーシップという影響力の実態をリーダーの行動に  
見出す

\*リーダーシップ・スタイル、リーダーシップ・パターン

## 2) 「機能」としてのリーダーシップ

山川  
「法的根拠にもとづいて公式 (formal) に設立された  
重層的なリーダーシップ構造」に着目  
「制度的・合法的にあたえられた権威」の重要性を強調

丸山  
「リーダーシップの本質は、要するに、リーダーであること  
ではなくて、リーダーシップの積極的機能の遂行にある」

ウィルダフスキー

現代の社会科学におけるリーダーシップ研究

×個別主義 (particularism)

リーダーの「特性」を強調＝ミクロな政治

聖書＝体制についてのマクロな政治にかかわる

モーセ五書の内容＝「体制の選択」

「体制のありかた」と「リーダーシップのありかた」

との結びつきを強調



「体制の機能としてのリーダーシップ」

## フェルドマン

### (1)偉人説

リーダー：他のメンバーとは異なる優れた素質や独特な特徴を持つ

### (2)時代精神説

時代の要求を強調

ある時代を支配している社会的な意識がその時代の人々の直接的な体験の表現として構成され、思想、風俗、芸術、文学、大衆文化etcに具体的に表れる

## カーショー

### ヒトラー研究

#### (1)意図派 (intentionalist)

ヒトラー：権力の体現者

ヒトラー個人の「イデオロギー的意図」がナチス・ドイツを動かす

#### (2)構造派 (機能派) (structuralist, functionalist)

ヒトラーの行動の「制約要因」に着目

経済、政治体制の意思決定過程etcが政策決定を左右

リーダーシップは属人的資質の問題か、環境の問題か

### 組織集団の運営

リーダーの資質に大きく左右されること

パフォーマンスに影響

「制度設計」の重要性

「ポピュリズム」「ポピュリスト」を問題視するのであれば.....

「制度の問題」を問う必要



環境>属人的資質



「体制の機能」としてのリーダーシップ

「体制」としてのポピュリズム

## 2. 「体制」としてのポピュリズム

### 1)ポピュリストがポピュリズムをもたらすのか

「ポピュリズム」を定義することの難しさ

吉田徹

権威主義的・右派的特性:カリスマ的リーダーの存在



平等主義的・左派的特性:人々のあいだの「平等」を希求  
対立する内容



「国民に訴えるレトリックを駆使して変革を追い求める  
カリスマ的な政治スタイル」

(1)「ポピュリズム」と「ポピュリスト」は不可分  
体制の機能としてのリーダーシップ

(2)ポピュリストは「カリスマ(性)」を必要とする

「ポピュリストに踊らされる大衆」？

「ポピュリズム」と非難されるような現象が有権者のそれなりに合理的な意思決定の結果であると判断されるケースも  
(善教将大、坂本治也)

ポピュリズムは全否定されるべきか？

ポピュリズムの否定

デモクラシーそのものの否定につながる可能性(杉田敦)

人民の支持・人民の意思の体現

デモクラシーのもとでの政治家の義務

ポピュリズムこそはデモクラシーの究極の形態？(吉田)

2)避けられぬものとしてのポピュリズム デモクラシーの一つの帰結  
(吉田)

冷戦構造崩壊、グローバル化、利益・イデオロギーの喪失

↓  
無党派化、脱政治化

↓  
共同体：アナーキーかつ平等主義的に  
デモクラシーの原則のみが残される

市民の自己決定、リーダーのアカウンタビリティ  
リーダー：分配できる財、提供できるイデオロギーを持たぬまま  
人々の意思を完全なかたちで体現する必要

↓  
ポピュリズム的なリーダーシップが出現しやすい条件

デモクラシーの原則の徹底 ポピュリズム

要因：リーダー ノンリーダーの関係  
(山川)

集団構成員の政治的知識、所得が比較的均等

デモクラシーの存続条件の一つ

デモクラシーのもとでのリーダーシップの基礎的条件

↓  
デモクラシー：「原理的には集団構成員のすべてがリーダーである  
ようなリーダーシップ・システム」

↑  
カリスマ的リーダー？

3)カリスマの脆弱さ カリスマ支配の平等主義的側面

ヴェーバー

被支配者による承認 カリスマの妥当性を決定

フロイト、フレイザー

「神殺し」「王殺し」

↓  
幸福をもたらしてくれない神やリーダーは不要  
カリスマ支配のデモクラティックかつ平等主義的な側面

#### 4) モーセ五書に描かれた政治体制 奴隷制、アナーキー、公正制、ヒエラルキー

##### ウィルダフスキーのモーセ五書解釈

(1) 支配者（リーダー）と人々（ノンリーダー）のあいだの権力の配分は？

平等か不平等か？ 支配者と人々のどちらに偏在？

(2) 権力の源泉はどこに？

体制（集団）の内部？ 外部？

(3) 宗教のありかたは？

一神教的？ 多神教的？ 神の啓示は誰が受ける？

(4) 支配者のリーダーシップのありかたは？

(5) リーダーシップに対する支持/要求の強弱は？

#### ウィルダフスキーによる体制とリーダーシップの分類

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Wildavsky, Moses as Political Leader, pp.217-225.をもとに作成。  
矢印はモーセの体制転換を示す。

#### モーセ五書の時代

十戒、祭礼に関する規定、生活に関する規定、民事・刑事の法制、  
職制=行政の整備、人口調査etc

法の支配に基づく安定した政治体制が確立されていく過程

モーセ五書に描かれるモーセ=リーダーの姿

それぞれの体制が要求した役割=機能

#### 5) ポピュリズムという体制 アナーキーと公正制の結合

ウィルダフスキーによる位置づけ

[奴隷制]

出エジプトに至るまでのエジプトのファラオとイスラエルの民との関係

フランコ政権（スペイン: 1939-1975年）

[アナーキーと公正制との結合（combination）]

ジャクソン政権（アメリカ: 1829-1837年）



「ポピュリズム」は？

#### [アナーキーの要素]

既存の枠組みの外部から登場するリーダー  
代議制デモクラシーのもとでの「プロ」「アマチュア」  
既存の枠組みの否定  
異なる地平=外部からの批判

#### [公正制の要素]

カリスマ的リーダーの存在  
構成員間の平等の希求  
内外の「敵」の攻撃  
内部の支持を固める  
「集団の内部に対しては、リーダーは敵対者が聖なるものを  
潰す存在であることを示すことでカリスマを保つことになる」  
(ウィルダフスキー)



ポピュリズム=アナーキーと公正制との結合

### 3. 「政治指導者」モーセ

#### 1) 政治指導者モーセとそのリーダーシップ

##### 「消極的な政治指導者」モーセ

神の召命を再三拒否  
イスラエルの民の反抗  
モーセの嘆き

The Nursing Father (Moses as Political Leader)

神の指示待ち(十戒の授与以前)  
兄アロンのサポート



リーダーシップが「体制の機能」であるがゆえに地位を維持

Then Moses heard the people weep throughout their families, every man in the door of his tent: and the anger of the LORD was kindled greatly; Moses also was displeased. And Moses said unto the LORD, Wherefore hast thou afflicted thy servant? and wherefore have I not found favour in thy sight, that thou layest the burden of all this people upon me? Have I conceived all this people? have I begotten them, that thou shouldest say unto me, Carry them in thy bosom, as a nursing father beareth the sucking child, unto the land which thou swarest unto their fathers? Whence should I have flesh to give unto all this people? for they weep unto me, saying, Give us flesh, that we may eat. I am not able to bear all this people alone, because it is too heavy for me. And if thou deal thus with me, kill me, I pray thee, out of hand, if I have found favour in thy sight; and let me not see my wretchedness. (Numbers:11.10-15)

モーセは、民がどの家族もそれぞれの天幕の入り口で泣き言を言っているのを聞いた。主が激しく憤られたので、モーセは苦しんだ。モーセは主に言った。「あなたは、なぜ、僕(しもべ)を苦しめられるのですか。なぜわたしはあなたの恵みを得ることなく、この民すべてを重荷として負わされねばならないのですか。わたしがこの民すべてをはらみ、わたしが彼らを生んだのでしょうか。あなたはわたしに、乳母が乳飲み子を抱くように彼らを胸に抱き、あなたが先祖に誓われた土地に連れて行けと言われます。この民すべてに食べさせる肉をどこで見つければよいのでしょうか。彼らはわたしに泣き言を言い、肉を食べさせよと言うのです。わたし一人では、とてもこの民すべてを負うことはできません。わたしには重すぎます。どうしてもこのようになさりたいなら、どうかむしろ、殺してください。あなたの恵みを得ているのであれば、どうかわたしを苦しみに遭わせないでください。」(民数記:11.10-15)

## 「偉大なる男」モーセ

モーセの八つの顔（ウィルダフスキー）

- (1)国家の創設者 (2)革命家 (3)立法者 (4)官僚  
(5)語り部 (6)教師 (7)学者 (8)政治家  
体制の変容に応じて、これらの顔を使いわけ  
リーダーシップ研究の題材となる価値

「ユダヤ民族の解放者にして立法者であり、宗教創始者」  
（フロイト）

## 2)同一化と自我理想、集団理想 リビード的拘束と共通のリーダー

ポピュリストの機能・役割

（吉田）

代議制デモクラシーの抱える不純物（汚職etc）



代表概念の棄却

人々の「分身」としてのリーダー

民意の「体現」「表現」 ×民意の代表

プロ アマチュア

「庶民感覚」「素人っぽさ」

政治的資源（組織、知識etc）の不足・欠如



「カリスマ」の必要性

（カリーゼ）

非人格化された政治権力＝「政治的身体」



政治権力とリーダーのパーソナリティとの再結合

（吉田）

政治家の「キャラ化」

言動そのものが政治の代名詞に

モーセの機能・役割

アナーキー、公正制

機会の平等+結果の平等の追求

平時はリーダーシップの行使も不平等としてタブー視

「代表」の選出

内部の軋轢、共同体の分断をもたらすおそれ



民の意思を完全なかたちで体現するモーセの導きに従う



## 2)同一化と自我理想、集団理想 リビード的拘束と共通のリーダー

フロイト『集団心理学と自我分析』

カトリック教会と軍隊についての考察

リーダー＝ノンリーダー間の拘束

まやかし（錯覚）の存在

首長（イエス、隊長）

集団の個々人に等しい愛情

「父親代わり」



ノンリーダー相互のリビード的拘束

相互の平等性の意識

感情的な結びつき

28

集団形成の本質

他人に対するリビード的拘束 ナルシシズムの制限

個々人間の関係：拒否的・敵対的感情の澱を孕む

自己主張を目指すナルシシズム

非寛容（反感・反発）



集団が形成されると消失

同一化

感情拘束の最も根源的な形態

情動的共通点の知覚：指導者に拘束されることの内に存在

集団化した個々人相互の拘束

29

自我理想

自己観察、道徳的良心etc

集団におけるリーダーの役割



集団

同じ一つの対象を自我理想の代わりに置き、その結果、自我が互いに同一化した個人により成立

自我理想を手放し、リーダーの内に具現化された集団理想と取り替える

30

ポピュリスト

「敵」の提示 集団内部の結束、支持

人々の意を体現して「敵」に立ち向かう存在として認識される



人々の「味方」「救済者」=人々を「等しく愛する」存在

ポピュリストと人々との拘束

人々にとっての共通のリーダー

人々同士の拘束

\*デモクラシーのもとでの平等性



集団理想としてのポピュリスト

人々の同一化

31



### 3) 「人格」としてのカリスマ、「理念」としてのデモクラシー 「偉大なる男」としてのポピュリスト

フロイト『モーセという男と一神教』

「偉大なる男」モーセ

「仮に鼓舞する力の源が、外部から、ひとりの偉大なる外国人の男から到来したものであったとしても、このような伝承を護り続け、不屈の預言者たちを生み出しえた事実は、ユダヤ民族にとって十分に名誉なことである」

偉大なる男

人格と理念 周囲の人びとに影響力

### ポピュリズムの背景

(吉田)

デモクラシーの機能不全

デモクラシーが「約束」したものが果たされないことに対する幻滅

「偉大なる男」としてのポピュリスト

「人格」としての「カリスマ」

「理念」としての「ありうべきデモクラシー」

## おわりに

### 1) 体制の機能としてのリーダーシップ

体制としてのポピュリズム

デモクラシーのもとでは不可避

アナーキーと公正制との結合

ポピュリストのリーダーシップの機能

人々の意思の体現

人々の「自我理想」としての役割

人々の同一化

「偉大なる男」

人格としてのカリスマ

理念としてのあるべきデモクラシー

人々に影響

### 2) ウィルダフスキーとフロイトの共通点

「機能」への着目>属人的資質

リーダーシップという機能

「偉大なる人物はどのように人々に影響を及ぼすのか」

### 3) モーセとイスラエルの民の足跡

安定した政治体制が確立されていく過程



「ポピュリズム」を問題視するのであれば.....

ウィルダフスキーとフロイトの考察の意義

「聖書は「リーダーシップの正しい目的とは何か」を問うのみならず、(同時に)「正しい体制の選択とはどのようなものか」をも問うている」(ウィルダフスキー)

「人間の集団には、感嘆賛美するに値する権威への強烈な欲求が存在しているのを、われわれは知っている」(フロイト)

## 参考・引用文献

宇田川耕一『オーケストラ指揮者の多元的知性研究 場のリーダーシップに関するメタ・フレームワークの構築を通して』(大学教育出版、2011年)

杉田敦『政治的思考』(岩波新書、2013年)

善教将大、坂本治也「橋下現象はポピュリズムか? 大阪維新の会支持態度の分析」

<http://synodos.livedoor.biz/archives/1957100.html>

野口雅弘『官僚制批判の論理と心理 デモクラシーの友と敵』(中公新書、2011年)

丸山眞男『丸山眞男講義録』[第三冊 政治学 1960](東京大学出版会、1998年)

山川雄巳『政策とリーダーシップ』(関西大学出版会、1993年)

山川雄巳『政治学概論』[第2版](有斐閣、1994年)

吉田徹『ポピュリズムを考える 民主主義への再入門』(NHK出版、2011年)

マウロ・カリーゼ『政党支配の終焉 カリスマなき指導者の時代』村上信一郎・訳(法政大学出版局、2012年)

オフェル・フェルドマン『政治心理学』(ミネルヴァ書房、2006年)

ジェームズ・フレイザー『金枝篇 呪術と宗教の研究4 第三部 死にゆく神』神成利男・訳、石塚正英・監修(国書刊行会、2006年)

ジークムント・フロイト『集団心理学と自我分析』藤野寛・訳『フロイト全集』[第17巻](岩波書店、2006年)

ジークムント・フロイト『モーセという男と一神教』渡辺哲夫・訳『フロイト全集』[第22巻]

Ian Kershaw, Hitler (Longman, 1991) (イアン・カーショウ『ヒトラー 権力の本質』《新装版》石田勇治・訳、白水社、2009年)

マックス・ウェーバー『権力と支配』濱嶋朗・訳(講談社学術文庫、2012年)

Aaron Wildavsky, Moses as Political Leader, (Shalem Press, 2005)